

横川っ子だより



2020年 オリンピックイヤー

2019年は、元号が令和に変わり、新しい時代がスタートしました。2020年は、いよいよ東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。そんな2020年の干支は、子（ねずみ）になり、繁栄の意味があります。

1964年の東京オリンピックは、日本を大きく変えました。オリンピック開幕に合わせて、1964年10月1日に開通したのが、日本が世界に誇る高速鉄道、新幹線です。それまで特急電車でも6時間以上かかっていた東京—新大阪間を、時速210Km、3時間10分で結ぶ東海道新幹線はまさに夢の超特急でした。

さて、2020年の東京大会は、3つの基本コンセプトが示され、史上最もイノベーションで、世界にポジティブな変革をもたらす大会とすることが発表されました。

<3つの基本コンセプト>

すべての人が自己ベストを目指し（自己ベスト）

一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）

そして、未来につなげよう（未来への継承）



私は、1998年長野オリンピックで、ボブスレーの観戦に行った経験があります。会場が熱気と興奮に包まれ、一生に一度の体験となりました。そこには、世界中の国・地域のアスリートと観客が一堂に集い、互いに尊重し合うことで、平和をつくり上げていこうとする雰囲気があり、ボランティアを含むすべての日本人が、世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎していました。

人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面の違いを肯定し、受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩すると思います。2020年の東京大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会を育む機会となってほしいです。

2020年の東京大会では、ロボットによって大会運営をサポートするそうです。東京大会によって、世界と未来がどう変わっていくのか楽しみです。





横川おどり 完成!



9月より横川小学校コミュニティ・スクール事業として、横川おどりの制作に取り組んできました。作曲を、につぼんど真ん中祭り総踊り曲の作曲者であり、三味線アーティストのたなかつとむさんに、振り付けを、DDMカンパニー指導者であり、横川小学校ダンスクラブの外部講師である大園菜月さんに依頼し、12月に完成しました。

今まで、横川祭りを通して学校と地域がつながり、横川祭り山車と山車蔵が学校と地域を結ぶシンボルとなっていました。これからは、夏祭りなどで横川おどりを地域の人と一緒に踊れるように広めていきたいです。

横川おどり

1 空はずっと繋がっている 世界のみならず繋がっている
 ここから元気を届けたい 世界の元気も届けたいかな
 それを気球に詰め込んで、膨らんだら飛び立とう
 ほら街が見えるよ
 みんなの元気は街の元気 街の元気はみんなの元気
 さあ元気に踊ろ!



2 海が見えるね輝いている みんな笑顔も輝いている
 笑顔と笑顔があつまると 優しい気持ち膨らむさ
 それで船を一杯に みんな乗ったら出発だ
 ほら街が見えるよ
 みんなの元気は街の元気 街の元気はみんなの元気
 さあ笑顔で踊ろ!

3 太陽まぶしい明るいね 大きな夢を照らしている
 夢と希望が重なると 楽しい未来の扉が開く
 さあ一緒にその先へ 手と手繋いで駆け出そう
 ほら明日に向かって
 みんなの元気は街の元気 街の元気はみんなの元気
 ほら楽しい
 みんなの元気は街の元気 街の元気はみんなの元気
 ほら嬉しい踊ろ!



つよい体! やさしい心! 大きな夢! 横川小!!